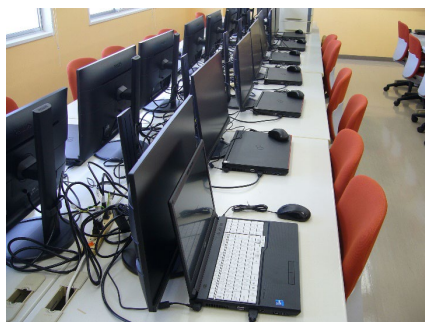


## 1. 教育基盤（施設・設備）の整備

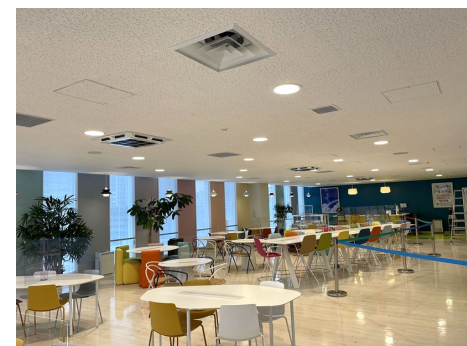
- 安全・安心な生活空間の確保及び各学校の個性・特色を生かした教育の質の向上のための装置・設備の整備を支援
  - ・社会や産業界の変化、急激な技術革新に対応した専修学校の情報処理教育に必要な設備の整備を支援〔私立大学等研究設備整備〕
  - ・専修学校の個性・特色を生かした教育の基盤や、社会的ニーズ及び分野横断領域に対応した人材育成に必要な装置の整備を支援〔教育装置〕
  - ・個別最適な学びを目指し、専修学校における情報通信ネットワーク装置の整備を支援〔ICT活用推進事業〕
  - ・学校のエコキャンパス化等を推進するとともに、環境に配慮した学校設備等の整備を支援〔エコキャンパス推進事業〕
  - ・感染症対策を含む安全・安心な生活空間に必要な基盤的設備等の整備を支援〔施設環境改善整備事業〕



【専門学校のコンピューター室】  
(高知県)  
専門学校の  
実習用PCの  
整備



【高等専修学校屋上に設置された太陽光パネル】  
(愛知県)  
学校の屋上に太陽光パネルを設置すると同時に、高効率型照明器具(LED)へ更新



【専門学校の学生ラウンジ】  
(神奈川県)  
感染症対策として換気装置を設置

## 2. 施設等の耐震化等の推進

- 学校施設の耐震化完了に向けた校舎等の耐震補強事業や、非構造部材の落下防止対策、屋外防災施設の整備等の防災機能等強化を重点的に支援
- 耐震化対策事業の下限緩和（令和5年度までの時限措置）
  - 防災機能等強化緊急特別推進事業
    - ・学校施設耐震改修工事
    - ・バリアフリー化工事
    - ・アスベスト対策工事
    - ・学校施設防災機能強化事業



外壁の剥落・落下

## 私立学校施設整備費補助金〔教育装置〕 活用例

事業名	整備後の教室	事業概要	整備効果
自動車整備実習場整備事業		<b>自動車整備実習授業にて使用する装置の整備。</b> 実習で死傷する様々な教材車輛の点検実習や分解組み立て実習、トラブルシュート実習を行う際に使用するリフトや、実習において使用する各種工具のためのリールボックスを整備する。	十分な台数が不足していたため、グループごとに実習内容に応じて順番に使用してきたが、整備後は制約を受けることなく、 <b>効果的なカリキュラムを組むことが可能になった。</b> 具体的には関連授業を連続で実施することにより、学生にとって分かりやすい授業を展開することができるようになった。
料理実習室教育システム整備事業		<b>実際の料理店の現場にある設備・機器を整備する。</b> あわせて新調理システム実習を展開できる設備を導入することにより、時代の変化に対応したより高度な知識と基本技術をはじめ、衛生管理の指導ができる機能的な実習室の整備を行う。	経年劣化により、実習に支障が生じていたが、整備後には清掃のしやすい衛生的な環境になったほか、収納スペースを拡充し、機器の配置・整理が容易になり <b>効率よく実習を実施出来るようになった。</b>
歯科ユニットの新規入替による実習環境整備事業		<b>実習室に設置する歯科ユニットの整備。</b> 歯科ユニット周りでのオペレーティングや歯科医師のサポート業務等に必要な診療の補助、予防措置、口腔保健管理スキル習得には、現在歯科臨床現場で使用されている最先端の歯科ユニットを利用することで、より実践に即した専門技能を数多く実習することができる。	教員が実習準備や後始末にかかっていた時間を実習に使うことが出来るようになったため、学生の技術向上につながった。 <b>最新設備の導入により、清潔で安全な実習が可能になった。</b>

# 専修学校の教育基盤の整備

令和5年度予算額 : 5 億円  
前年度予算額 : 5 億円

## ◆ 教育基盤(施設・設備)の整備

令和4年度補正予算額 : 1. 5 億円

### 情報処理関係設備 <私立大学等研究設備整備費等補助金>

- 情報処理教育に必要な電子計算機、その他の情報処理関係設備の整備
  - ・ 補助率 : 専門課程、高等課程とも 1 / 2
  - ・ 補助対象事業費の下限額 :
    - 専門課程 500 万円
    - 高等課程 500 万円

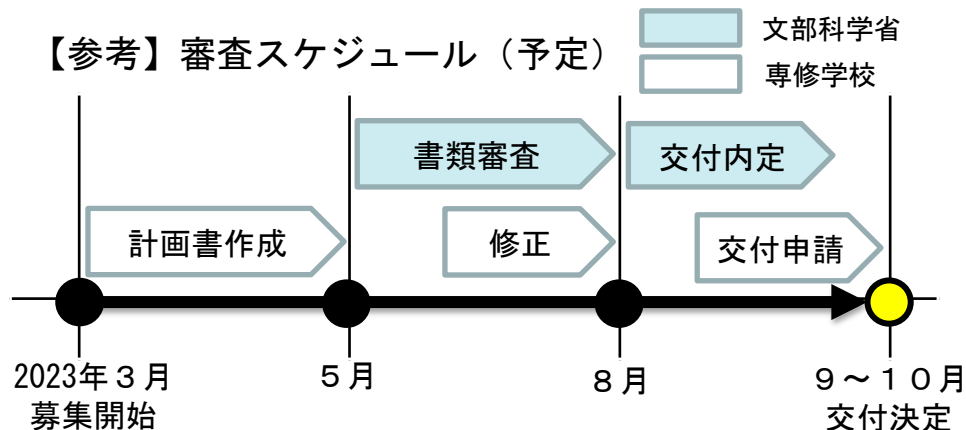
### 教育装置の整備 <私立学校施設整備費補助金>

- 教育に必要な機械、器具、その他設備などの整備(※ 施設工事を伴うものに限る。)
  - ・ 補助率 : 専門課程 1 / 2 高等課程 1 / 3
  - ・ 補助対象事業費の下限額 :
    - 専門課程 2000 万円
    - 高等課程 400 万円

### エコキャンパス推進事業 <私立学校施設整備費補助金>

- 太陽光発電、エコ改修など環境に配慮した学校施設の整備
  - ・ 補助率 : 専門課程 1 / 2 高等課程 1 / 3
  - ・ 補助対象事業費の下限額 :
    - 専門課程 1000 万円
    - 高等課程 1000 万円

### 【参考】審査スケジュール(予定)



### 学内LAN装置の整備 <私立学校施設整備費補助金>

- 学内LANの構築に要する光ケーブル等の敷設工事
  - ・ 補助率 : 専門課程 1 / 2 高等課程 1 / 3
  - ・ 補助対象事業費の下限額 :
    - 専門課程 500 万円
    - 高等課程 250 万円

### 施設環境改善整備事業 <私立学校施設整備費補助金>

- 感染症の予防など衛生環境の改善のために行う空調設備等やトイレの改修整備(※トイレの改修整備は、高等課程のみ対象)
  - ・ 補助率 : 専門課程 1 / 2 高等課程 1 / 3
  - ・ 補助対象事業費の下限額 :
    - 専門課程 200 万円
    - 高等課程 200 万円

## ◆ 施設等の耐震化等の推進

### 学校施設の耐震化工事 <私立学校施設整備費補助金>

- 危険建物（Is値0.7未満）の防災機能強化のための耐震補強工事
  - ・ 補助率：専門課程 1／2  
高等課程 1／3（Is値0.3未満等は1／2）
  - ・ 補助対象事業費の下限額：

専門課程	400万円	耐震診断のみ実施する場合、下限額制限なし
高等課程	400万円	

### バリアフリー化工事 <私立学校施設整備費補助金>

- スロープやエレベータの設置など、身体障害者等が利用できる施設環境の整備
  - ・ 補助率：専門課程 1／2 高等課程 1／3
  - ・ 補助対象事業費の下限額：

専門課程	300万円
高等課程	300万円

### アスベスト対策工事 <私立学校施設整備費補助金>

- 吹き付けアスベストやアスベストを含む保温材、断熱材等の除去等によるアスベスト対策
  - ・ 補助率：専門課程 1／3 高等課程 2／9
  - ・ 補助対象事業費の下限額：

専門課程	制限なし
高等課程	制限なし

### 非構造部材の耐震対策工事

#### 防災機能強化事業 <私立学校施設整備費補助金>

- 天井材、照明器具、内・外壁材、書架等の非構造部材の耐震対策
- 備蓄倉庫、自家発電設備の整備等
  - ・ 補助率：専門課程 1／2  
高等課程 1／3 

耐震化工事と合わせて行う場合、 Is値0.3未満等は1／2
  - ・ 補助対象事業費の下限額：

<耐震化工事と合わせて行う場合>※ 耐震化工事費を含めた下限額	
専門課程	400万円
高等課程	400万円
<非構造部材の耐震対策工事（※ 100㎡以上の空間に限る。） 備蓄倉庫のみの整備を行う場合>	
専門課程	150万円以上
高等課程	制限なし
<自家発電設備のみの整備を行う場合>※ 避難所指定の学校に限る。	
専門課程、高等課程とも 200万円以上500万円以下	

### 【学校施設の耐震化等工事のための利子助成制度】

- 学校法人、準学校法人立の専修学校、各種学校が、日本私立学校振興・共済事業団から融資を受けて耐震改修事業等を行う際に（※）、法人の支払利息の一部を国が補助することにより、法人の実質負担金利が一般施設費の△0.5%となるよう、利子助成を実施（助成期間は20年間を予定）。
- ※ 日本私立学校振興・共済事業団から融資を受けるためには、専修学校であれば、授業が年2回を超えない一定の時期に開始され、かつ、その終期が明確に定められていることなど、いくつかの要件が設定されている。